

にいのみ智裕後援会事務所 飯山市南町-1-10

会長 長瀬 哲

② 0269-67-0504③ 0269-67-0326

accept@ninomi.net

http://ninomi.net/



### プロフィール

1959 飯山市新町生まれ・63歳

飯山小学校・第一中学校・飯山北高 等学校卒業

1983 新潟大学工学部土木工学科卒業 同年 4 月長野県庁入庁

2011 安曇野市都市建設部長

2013 北信建設事務所長

2015 建設部河川課長

2018 長野建設事務所長

2019 長野県を退職・飯山市副市長

ほか 岳北広域行政組合副組合長

信州いいやま観光局理事長

# にいのみ智裕 基本政策集 ver. 1

#### 安心を未来へつなぐ!

~安心して心豊かに住み続けられる いいやまづくり~

#### 市民のみなさまとわたくしの8つのお約束

1 飯山市から水害をなくす

~東日本台風の教訓を生かし、防災減災のまちをつくります~

2 子どもたちの未来をつくる

~子どもたちが健やかに育つまちをつくります~

3 経済のにぎわいをつくる

~誰もがチャレンジできる経済力と賑わいのあるまちをつくります~

4 人づくりに投資します

~若者を支援し、地域に定着できるまちをつくります~

5 出会いから子育てまでサポートします

~全世代における切れ目のないサポートを行います~

6 移住定住、交流人口を増やす

~移住・交流を促進し、空き家の無いまちを目指します~

7 誰もが便利なまちをつくる

~デジタル化が実感できるまちを目指します~

8 市政の主役は市民です

~幅広く意見をお聴きし、市民が主役の市政を進めます~

## 1 飯山市から水害をなくす

私は、河川・治水行政の専門家です。東日本台風の教訓を生かし防災・減災のまちづくりを進めます。

1 治水対策の経験を活かし、水害のない 飯山市づくりを進めます。 昭和57年58年、令和元年をはじめ過去に何度も洪水による甚大な被害を受けた飯山市民にとって「水害のないまち」は悲願です。住宅の安全確保はもとより、農用地・工業地への浸水は経済活動にも大きな打撃を与えます。千曲川治水対策プロジェクトによる本堤の強化、無堤地域の解消などとともに、支川からの内水氾濫対策もあわせた抜本的かつ効果的な取り組みを、流域治水を基本的な考え方として進めます。

2 市役所内に「インフラ事業推進室」を 設置し、国県との連携により着実に治 水対策を進めます。 国県や住民との円滑な調整や老朽化した市道、上下水道 管、消融雪施設等の更新を迅速かつ計画的に進めるため 「インフラ事業推進室」を設置します。

3 道の駅周辺に、国と市による「河川防 災ステーション」の建設を実現します。 道の駅周辺に国と市による「河川防災ステーション」を建設して災害時は防災拠点とし、平常時はスポーツと観光の拠点を創出します。(P8イメージ図参照)

4 将来世代の生命を守るため、再生可能 エネルギーを導入し気候変動対策を進 めます。 県の支援制度と連携し、雪氷熱利用、太陽光発電、地下熱利用などの導入可能性調査を行い、再生可能エネルギーの 普及拡大を進めます。

## 2 子どもたちの未来をつくる

私は、「子どもたちが健やかに育つまち」をモットーに安心して子どもを育てられるまちをつくります。

 保育園、幼稚園、小中学校の給食費を 無償化します。 飯山の将来を担う若い世代へ積極的に支援し、安心して子 どもが育てられるまちを目指していきます。

2 保育園、幼稚園での使用済み紙おむつ の持ち帰りを無くします。 一般財団法人 nippon 紙おむつリサイクル協会などと連携し、保育園や幼稚園及び一般の紙おむつの回収事業を導入し、再資源化を目指します。

3 未来の子どもたちへ自然豊かな環境を 引き継ぐため、ゼロカーボン(脱炭 素)を推進します。 県の「建築物の省工ネ改修サポート制度」などと連携し、 断熱リフォーム支援など家庭の省工ネ対策を進めます。ま た県の支援制度と連携し、雪氷熱利用、太陽光発電、地下 熱利用など再生可能エネルギー導入の可能性調査を行いま す。

4 地域の教育力を活かしたふるさと教育 の充実に取り組みます。 多くの地域が主体的に学校運営等に参加する「いいやま版 コミュニティースクール」の活性化を図り、地域の教育力 を活かしたふるさと教育の充実に取り組みます。

5 子どもたちの通学路の安全対策を促進 します。 区や民生委員と協力して、子どもたちへの声かけ活動をさらに進めるとともに、防犯、防災力の強化を図ります。また、通学路の歩道整備の促進はもちろんのこと、交通管理者と緊密に連携し要望の強い地域の通学路にゾーン 30 プラスを積極的に導入します。

6 18 歳未満の医療費を無償化します。

18歳未満の医療を無償化し、子育て世代の生活を支援します

7 子どもたちの食育に取り組みます。

学校給食に「今日は飯山産の日」を設けるなど、魅力ある 飯山の農業・食材を子どもたちに知ってもらう食育の取組 を進めます。

## 3 経済のにぎわいをつくる

私は、誰もがチャレンジできる経済力とにぎわいのあるまちづくりを目指し、雇用 を増やし人口を増やす取り組みを行います。

1 多様な農業経営をサポートします。

「大農も、小農も、ともに育成」し、スマート農業の推進、 地産地消の拡大や海外への販路開拓など、多様な農業経営を サポートします。〈円安とウクライナ情勢の先行き不透明 から原油高、肥料・資料の高騰が農業経営を直撃している 現状にあって、市の農業収入をけん引する大規模農家だけ でなく、家庭単位の小規模農家にも、細やかな支援策を講 じます〉

2 道の駅(農産物直売所)では誰もが農 産物を売れるよう生産者を応援しま す。 農業収入の確保のため、各地域にあった農産物の導入を推 進します。

また道の駅(農産物直売所)では、誰でもが農産物を売れるようにし、生産者を応援します。

3 旧城南中学校跡地の活用を進め新産業 エリアを創出します。

新幹線駅に直結する地の利を生かし、I ターン・U ターン 住居エリアを整備するとともに、産業振興エリアを整備し 域外からも新産業や IT 起業家を誘致します。

4 新たな事業に挑戦するスタートアップ 企業や団体を支援します。 新たな事業に挑戦するスタートアップ企業や団体を支援します。空き店舗の活用策、IT・ものづくり・新規出店者の起業支援を行い、その後の販路拡大・経営安定に相談窓口を設けます。

5 インバウンドを意識した観光戦略を実 行します。 自然、農産物、文化財、風習、郷土料理、全ての素材を観光活用の視点で見直し、他にない独自の強みとして選ばれる観光地をつくります。新幹線飯山駅を軸とした信越自然郷市町村の連携を強化し、広域旅行商品の売り込みにより誘客を促進します。

6 市民生活の足、JR 飯山線は全力で守り ます。 市民生活の足でもある「JR 飯山線」は魅力的な観光素材でもあります。レール&サイクル、秘境駅ツアーなど JR や観光関係者と連携して存続を図ります。

7 市内企業が取り組む DX などをサポートします。

信州大学や長野県立大学などとの連携協定に基づき、市内企業・事業所が取り組む人材育成、DX 化、SDGsの推進、エシカル消費(人や環境に配慮した消費行動)、ダイバーシティ(雇用の機会均等)、ゼロカーボン等未来への対応を支援します。

8 寺のまち飯山を改めて見つめなおし、 市街地観光の振興を図ります。

仏壇店通りと寺院が織りなす「寺まち飯山の風情」を地域の宝として大切にし、飯山城址公園、高橋まゆみ人形館はじめ各商店街への周遊により、訪れる人を魅了する市街地観光を再興します。

9 飯山駅前の土地の有効活用を図ります。

空き地や未利用市有地の有効利用を目指して、UDC 信州や民間企業とタイアップし誘客商業施設を建設。開店資金を補助し新規出店を促進します。

10 地域経済を支える産業の活性化を図ります。

伝統的工芸品の振興やあらゆる産業の生産性向上、販路開拓を支援するとともに、企業再生や後継者難による事業継続等の課題解決に取り組みます。

11 コロナ禍、急激な物価高騰に直面する 事業者の経営安定を支援します。 コロナ禍で停滞した社会経済活動の再生、物価高騰に苦しむ事業者の事業継続や、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた事業再構築を支援します。

12 「いいやま産品」のブランド化により 高付加価値化と収益向上を図ります。

農産物、農産物加工品、地域企業の自社開発製品など地域 資源を活用した「いいやま産品」のブランド化と高付加価 値化を、産業支援機関や専門家等と連携して推進します。

13 ライフスタイルに合わせた多様な農業 を応援します。 農産物のブランド化・輸出の促進、直売所の活用などにより、産業としての農業を行う農家の「やりがい」と、暮らしとしての農業を行う高齢農家などの「いきがい」をともに支援します。

14 農福連携を推進します

誰もが生き生きと暮らしていける社会の実現を目指して、 農福連携を推進します。

## 4 人づくりに投資します

私は、若者を支援し、伝統や技術をつなぎ担い手となる人材育成を進めます。

1	奨学金制度を拡充させます。	大学生等への奨学金対象を製造業、情報、観光、農業などの分野に広げるとともに、返還免除制度を導入(拡充)し、Uターンする若者を支援します。
2	伝統産業や建築職人などの後継者育成 を支援します。	飯山仏壇・内山紙・伝統野菜などのブランド化を進め、全 国から希望者を募り後継者育成と技能の継承を図ります。
3	時代の変化に合った知識やスキルを学 べる「リカレント教育」の場を設けま す。	時代の変化に合った知識やスキルを学べる「リカレント教育(社会人の学び直し)」の場を設けます。
4	地域の高校の維持存続します。	地域のリーダー育成に多大な役割を担ってきた下高井農林

高校を維持し、存続させます。

# 5 出会いから子育てまでサポートします

私は、全世代における切れ目のないサポートを行い、ひとりひとりの幸せの積極支援をします。

1 結婚希望者への成婚までの個別サポートを行います。

社会福祉協議会や民間企業など関係機関と連携し、結婚希望者が成婚するまでサポートを行います。

2 出産時の交通費助成、出産時の特別給付金の拡充を行います。	出産時の交通費助成、特別給付金の拡充にあわせ、使い勝 手のよい制度の見直しをします。
3 妊娠、出産、子育ての総合窓口を作り ます。	不妊治療、妊娠、出産、子育ての総合窓口をつくり、医療、保健、福祉が連携した切れ目のない子育て支援を行います。
4 健康増進プログラムを作成します。	子どもからお年寄りまでの健康プログラムを作成し、個人 ごとに細やかな健康管理を進めます。
5 飯山赤十字病院と連携し産婦人科を設 置します。	地域医療の中核を担う飯山赤十字病院を支援するととも に、未来を担う子どもたちを安心して産み育てられる環境

づくりを進めます。

# 6 移住定住、交流人口をふやす

通サービスを提供します。

#### 私は、古民家や空き家活用をサポートし、空き家の無いまちを目指します。

1	古民家、空き家活用へのサポート体制 を強化し、空き家解消と移住定住を進 めます。	域外からの移住者に対し、空き家活用のリフォーム助成金 を創設(拡充)します。また移住後の地域との交流のサポ ート窓口を設け継続的な支援を行います。
2	交流人口の増をすすめ、賑わいのある まちにします。	大阪市や国分寺市をはじめ提携都市との連携等交流人口の増を進め、賑わいのあるまちにします。
3	廃屋対策を積極的に進めます。	地域の皆さまと相談し、特定空き家対策に積極的に取り組 み、飯山市の美観を守ります。
4	信州いいやま観光局の情報を SNS で発信し、交流人口の増加を図ります。	飯山市教育旅行体感プログラムの更なる充実を図るとともに、インバウンド観光を見据え、英語だけでなく多国語による情報発信を、SNSを通じて行います。
5	「移住したいまち飯山」を滞在型農業 体験・観光などを通じてアピールしま す。	農山村に滞在し農業体験を楽しむグリーンツーリズムや観 光交流を通じて飯山の魅力を体感していただく取り組みを 進めます。
6	公共交通を見直し、使い勝手の良い交	運転免許証を自主返納された方の対応拡充を図ります。

# 7 誰もが便利なまちをつくる

私は、デジタル技術を活用して市民の暮らしを支えます。

1	商店街のキャッシュレス化を図りビジ ネスチャンスを拡大します。	市民及び来訪者に利便性の高いキャッシュレスの普及を図り、「キャッシュレス対応」のできるお店を増やします。
2	高齢者の見守りシステムやデマンドバスの予約が出来る簡単操作のタブレットを導入します。	高齢者の見守りシステムやデマンドバスの予約が出来る簡単操作のタブレット等を導入した使い勝手の良い交通サービスを提供します。
3	子どもたちへのデジタル教育を促進させます。	長野県 DX 戦略と連携し、児童・生徒自らが ICT を最大限活用し、世界中に学びのフィールドを拡げることができる教育環境を整備します。
4	市役所から DX を推進します。	市役所から DX(デジタルトランスフォーメーション/デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させること。)を推進し、市民が効果を実感でき、生活の利便性の向上に役立てます。
5	バリアフリーのまちづくりをします。	市内インフラのバリアフリー化や就労支援をはじめ、障害 をお持ちの方も安心して暮らせる環境整備を進めます。

# 8 市政の主役は市民です

6 雪に負けないまちづくりをします。

私は、市民の皆さまとの対話を重視し、皆様の意見を広く聴きながら市政を進め ます。

取り組みを進めます。

高齢者や弱者などへの除雪支援を始め、冬期の生活を守る

1	市内全集落において懇談会を開催し、	市民あっての市政です。私自らが出向いて高齢者の皆様を始
	皆様の生の声を市政に反映します。	めとする市民全体の声を聴き、市政に生かします。
2	女性や若い方々などさまざまな世代と の懇談会を開催し、市政に反映させま す。	世代別や性別を問わず、幅広く懇談会に出席し、皆さまの悩み事に応えられる市政を進めていきます。

#### 3 集落課題を解決します。

集落支援については、各区からご意見をいただき、必要な 支援を検討、実施します。同時に、市民の自主的な社会活 動への支援に取り組みます。

4 多様なパートナーシップを推進します。

市民と行政、男女共同参画など、あらゆる場面で活躍している市民・団体とのパートナシップを推進し、一人ひとりが生き生きと活動できるまちづくりを進めます。



河川防災ステーション